

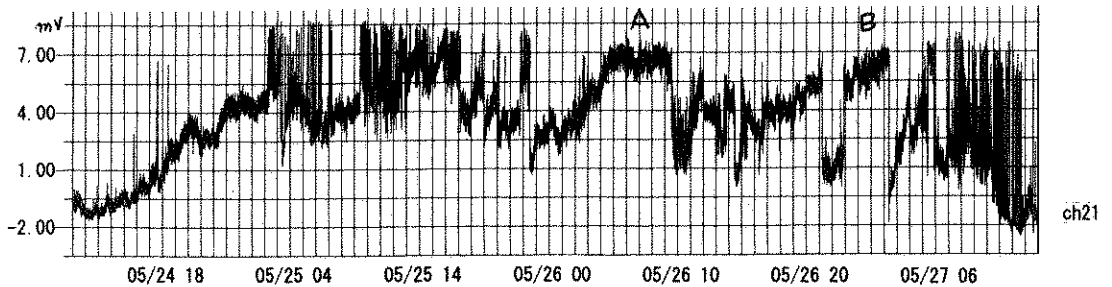
原稿校了後の前兆変化について

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

No.1778 長期継続前兆現況報告 ステージ24が示した 5/26に CH29-PBF極大

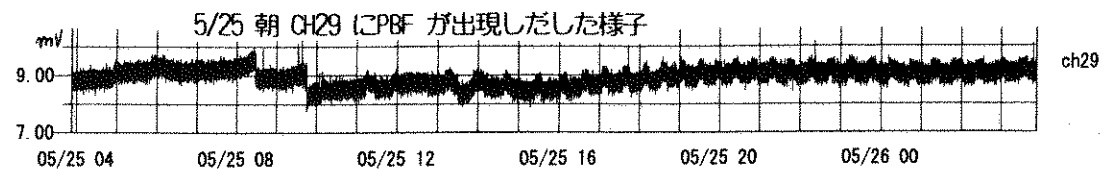
CH21特異

5/24 11h~5/27 14h迄の基線。静穏化の可能性が有、実際右基線A部とB部は正常基線となったが、現在も特異状態前兆が継続中。



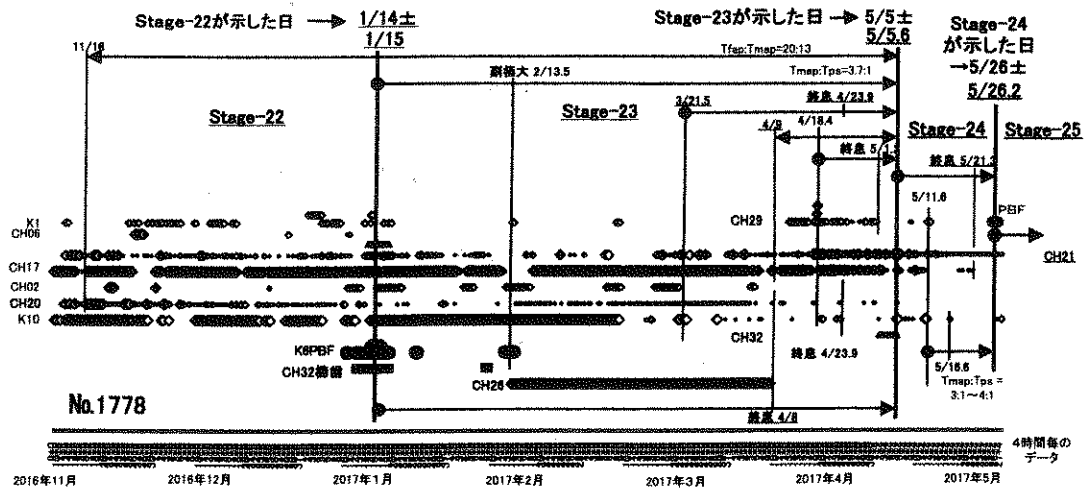
CH29-PBF

5/25朝よりPBF 周期的BF前兆出現。継続時間計=約50時間(M7.0±相当) 中心は5/26.2認識。基線に対し上局(勝浦100w)によるPBF。CH29-PBFだけでは、No.1778領域は勿論、東北南部~新潟含む領域を示す。



5/26極大~Stage-25

ステージ24が最終ステージであった場合、静穏化の可能性がありました。本日現在も前兆継続。5/26を中心にCH29に右上波形PBFが出現。ステージ24が示した日は5/26±で正しく、5/26に極大出現認識。5/26極大に対するCH21の静穏化で発生日推定。



No.1778長期前兆第24ステージの動向から、CH17 5/5/6極大に対し、5/11.6終息から5/26が示され、K10特異 5/5.6主極大~5/16.6副極大から5/26~31が示されていました。残存前兆CH21の終息を待っていましたが、終息が認められないため、誤差範囲で5/30±等の可能性も考えましたが、上のとおり、5/26中心に静穏だったCH29に周期的連続BF (PBF) 前兆が出現。極大認識となりました。ステージ24が示した日は5/26±で正しく、5/26に極大(ステージ25)が出現したと云う見解です。

K10に昨日本日と断続的に特異が出現していますが、基本的にCH21の特異状態が継続残存前兆です。

5/26極大に対するCH21静穏化で発生日推定予定

ステージ25の極大となった5/26極大に対する初現は不明ですので、現段階では発生日を推定することは困難です。但し、主な継続前兆がCH21のみであることから、最終段階の可能性は否定できません。対応地震発生日は、CH21 (K10も含) 前兆の静穏化が観測された時点で、 $T_{fap}:T_{map}=20:13$ $T_{fap}:T_{pp}=6:1$ より $T_{map}:T_{pp}=3.9:1$ 経験則より、計算できますので、CH21の静穏化を観測次第、発生日を計算して報告させていただきます。

- ◆推定領域: 下図 点線領域=大枠 大線領域内=可能性高い ※ある程度火山に近い領域の可能性有 (※影響局誤認の場合は福島付近となるが下図領域が考え易い)
- ◆推定規模: $M7.8 \pm 0.5$ (震源浅い陸域日本列島地殻地震)
- ◆推定時期: 実際の前兆終息を観測後計算予定 (可能性: 6月5日~13日等)
- ◇推定発生時刻: 午前9時±1時間 (又は午後6時±3時間)

